

国際シンポジウム

# 災害後社会と アートによる 地域マネジメント

アジアでは、地震、津波、噴火から、紛争、政治的テロに至るまで「災害」が頻発している。その衝撃からの再生、復興に関する知恵と技術を、触媒としてのアートに焦点をあてながら議論する。なぜアートなのか？そのマネジメントは？地域社会の知を私たちはどのように共有できるのだろうか？

## 12月1日(木)

- ① 10:30-12:30 国内外の事例報告 [同時通訳]  
タイ、インドネシア、東日本他
- ② 13:30-15:30 市民ワークショップ [同時通訳]  
「大阪発アートによる心のケアとコミュニティの再生」  
コーディネーター：中川 眞(大阪市立大学)
- ③ 16:00-18:00 専門家会議  
「アカデミアと社会との対話」  
司会：山口 悦子(大阪市立大学)
- ④ 18:00-20:00 エキシビション  
「鶺鴒神楽」公演  
解説：橋本 裕之(盛岡大学)

## 12月2日(金)

- ⑤ 10:30-12:30 研究報告
- ⑥ 14:00-15:00 基調講演 [同時通訳]  
「地域社会と芸能一陸中の神楽」  
橋本 裕之(盛岡大学：日本民俗文化論)
- ⑦ 15:10-17:30 シンポジウム [同時通訳]  
「『災害後社会とアートによる地域マネジメント』  
の発信へ向けて」  
司会：阿部 昌樹(大阪市立大学)

※プログラムの詳細は<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/RT2/>にて、ご覧いただけます。

主催 大阪市立大学都市研究プラザ (財)大阪国際交流センター

参加費 無料

申込方法 はがき、FAXまたはWebで  
1.代表者氏名(ふりがな)  
2.参加人数  
3.住所(会社名等を含む)  
4.電話番号  
5.参加セッション番号(左記の①-⑦の番号)  
を明記して、11月21日までにお申し込み下さい。  
※④鶺鴒神楽公演のみ参加の場合は申し込み不要です。

申込先 大阪市立大学都市研究プラザ  
〒558-8585  
大阪市住吉区杉本 3-3-138  
TEL 06-6605-2071  
FAX 06-6605-2069  
<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/>

会場 大阪国際交流センター  
大阪市天王寺区上本町 8-2-6  
TEL 06-6773-8182



# 鵜鳥神楽

うのとり

かぐ

ら

演目— 清祓<sup>きよはらい</sup>、山の神<sup>やまかみ</sup>、恵比寿舞<sup>えびすまい</sup>  
解説— 橋本裕之<sup>はしもと ゆきゆき</sup>（盛岡大学教授）

鵜鳥神楽は陸中沿岸(岩手)を代表する神楽であり、冬期に百キロ以上の距離に及ぶ巡行をおこなうことで知られる。震災で上演の場を失った神楽衆が、再生の第一歩を大阪に印す。

平成23年12月1日(木)  
午後6時～8時  
大阪国際交流センター  
大阪市天王寺区上本町 8-2-6  
電話 06-6773-8182

入場無料